

数学科 学習の手引き

1. 数学の世界へようこそ

数学は、数千年も前から、長い時間をかけて、まとめられてきたものです。数学はさまざまな時代に研究され、人々の生活や科学の進歩のために役立ってきました。これからの時代を担っていくみなさんには、いろいろな知識や経験が必要になってきます。数学もそのひとつです。みなさんも、これから学ぶ数学を、いろいろな場面で役立てられるように努力してください。

参考のために、「授業への取り組み」、「家庭学習のしかた」、「テストの考え方」について書いておきます。これからの学習に役立ててくれたらと思います。

2. 授業への取り組み

「授業に真剣に取り組む」ことは、どの教科についても同じです。先生方の経験や豊富な知識から良いところを取り入れて、自分の力にしてほしいと思います。

そのためにも、

- ① 準備物の忘れ物がないようにしましょう。特に、定規やコンパス等を忘れることは厳禁です。定規とコンパスは、テストのときに必ず用意しなければいけない物なのでいつでも使えるように準備しておきましょう。
- ② ノートは、自分にとって「1番わかりやすい参考書」であってほしいと思います。そのためには、ただ黒板を写すのではなく、大事なことや間違えて訂正したところの色を変えて書いてみたり、間違いやすい問題には印をつけたりするなどの自分なりの工夫をしてみてください。勉強することは、自分にとって、どのように取り組むことがベストなのかを追求することです。ノートの取り方やまとめ方もそのひとつです。中学校3年間のなかで、自分にとってのベスト参考書を完成させましょう。
- ③ 分からないことをそのままにせず、先生に質問しましょう。小さいことでも積み重なると大きくなります。小さいうちに片付けましょう。

3. 家庭学習のしかた

「授業で学んだことを自分のペースに合わせて学習していく」家庭学習はとても大切な作業です。次のことを意識して取り組んでください。

- ① 毎日の復習は確実にしましょう。タブレットの「ミライシード」を使ってもOKです。予習については、余裕があればしましょう。
- ② 宿題は、基礎・基本の定着をはかるために、先生方が出されるものです。その意義を考えて、必ず自分の力で、その日のうちに、取り組みましょう。
- ③ 数学の基本は計算する力です。毎日、少しずつで構いませんので、計算問題に取り組んでほしいと思います。教科書や「できる計算」、「数学演習」をノートに書いて何度も解いてみましょう。
- ④ 知っているか知らないか、似たようなものを見たことがあるかないかが問題へのアプローチを左右します。したがって、時間の許す限り、多くの問題に取り組むことで「知る」ことや「見る」ことを大切にしてください。

4. テストの考え方

テストは、「良い点数をとること」だけが目的ではありません。自分がどこまで学習したことを理解できているのかを知ることにあります。毎日の学習を充実させていけば、テストのために特別な学習をする必要はありません。また、間違えた問題は、自分がまだ理解していないところを教えてくれるものです。間違えた問題を大切に、次のステップアップにつなげてください。自分の未来を明るくするために、テスト後のエラーズレポートを欠かさないようにしましょう。